

日本教育政策学会 第26回大会プログラム



大輪の旭日を背に
そびえ立つ太平の峰、
ここに源をもつ旭川
と太平川を表す

【秋田大学教育文化学部のロゴマーク】

日程:2019年7月6日(土)～7日(日)

会場:秋田大学 手形キャンパス

日本教育政策学会 第26回大会実行委員会

日本教育政策学会 第26回大会

秋田は高い学力で全国的に知られているところではありますが、同時に戦前の生活綴方教育、北方教育の発祥の地として、教育史の面でも有名です。東日本大震災から8年が過ぎた被災地は復興にはまだ遠く、東京一極集中の陰で、東北地方をはじめとする地方の衰退、少子高齢化、人口減少の深刻化は、地域と教育のありように大きな影響を及ぼしています。本大会では、秋田の状況を踏まえながら、これからの地域と学校の関係性を考える機会となるよう公開シンポジウムを企画しました。

課題研究では、第9期の課題研究プロジェクト「教育と福祉の統一的保障をめぐる教育政策の課題と展望」に即した研究報告と議論の場を持ちます。自由研究発表は13件のエントリーがあり、3つの分科会を用意しました。多彩な議論を期待します。

秋田はアクセスに難があるところではありますが、その分、自然や文化に恵まれ、おいしい日本酒、料理にもことかきません。充実した大会となりますよう、大会実行委員会一同準備を進めてまいります。会員各位にはどうぞふるってご参加下さいますようお願い申し上げます。

第26回大会実行委員長

佐藤 修司(秋田大学)

大会日程

■第1日 7月6日(土)

全国理事会 10:00~11:30	年報編集委員会 11:30~	受付 12:00 ~	総会 13:00~14:00	公開シンポジウム 14:15~17:15	懇親会 18:00~20:00
----------------------	-------------------	------------------	-------------------	-------------------------	--------------------

* 全国理事会、年報編集委員会出席者、シンポジウムの登壇者には、昼食をご用意します。

■第2日 7月7日(日)

受付 9:00~	自由研究発表 9:30~12:00	休憩・昼食 12:00~13:00	課題研究 13:00~16:00
-------------	----------------------	----------------------	---------------------

* 課題研究の発表者・司会者には昼食をご用意します。

<p>【7月6日(土)】</p> <p>○会議 全国理事会 3号館 150 教室 10:00~11:30 年報編集委員会 3号館 146 教室 11:30~13:00</p> <p>○受付 3号館ピロティ 12:00~</p> <p>○総会 3号館 255 教室 13:00~14:00</p> <p>○公開シンポジウム打ち合わせ 3号館第4会議室 12:10~14:00</p> <p>○公開シンポジウム 3号館 60周年記念ホール 14:15~17:15</p> <p>○懇親会 ホテルメトロポリタン秋田 18:00~20:00</p> <p>・大会本部 4号館 111 教室 ・会員控室 (13:00以降) 3号館 146 教室 ・書籍販売 3号館ピロティ</p>	<p>【7月7日(日)】</p> <p>○受付 3号館ピロティ 9:00~</p> <p>○自由研究発表 9:30~12:00 分科会1 3号館 150 教室 分科会2 3号館 255 教室 分科会3 3号館 254 教室</p> <p>○課題研究打ち合わせ 3号館第四会議室 12:10~13:00</p> <p>○課題研究 3号館 255 教室 13:00~16:00</p> <p>・大会本部 4号館 111 教室 ・会員控室 3号館 146 教室 ・書籍販売 3号館ピロティ</p>
--	--

会場 秋田大学手形キャンパス

【所在地】 〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町 1-1



東京から

- 羽田空港—秋田空港（1時間5分）
- 秋田新幹線「こまち」 東京駅—秋田駅（約4時間）

名古屋から

- 中部国際空港—秋田空港（1時間20分）

大阪から

- 大阪国際（伊丹）空港—秋田空港（1時間30分）

札幌から

- 新千歳空港—秋田空港（1時間）

秋田空港～秋田駅間リムジンバス

- 秋田空港—秋田駅西口（約35分）
- 秋田空港—秋田駅東口（約30分）

会場図



【駅からのアクセス】

- ・秋田駅東口より徒歩 15 分
- ・秋田駅西口バスターミナル⑫番から「手形山大学病院線」に乗車 8 分、秋田大学前下車徒歩 3 分
- ・秋田駅(JR)東口または西口からタクシー乗車 5 分(秋田大学手形キャンパス南門までと伝えてください)

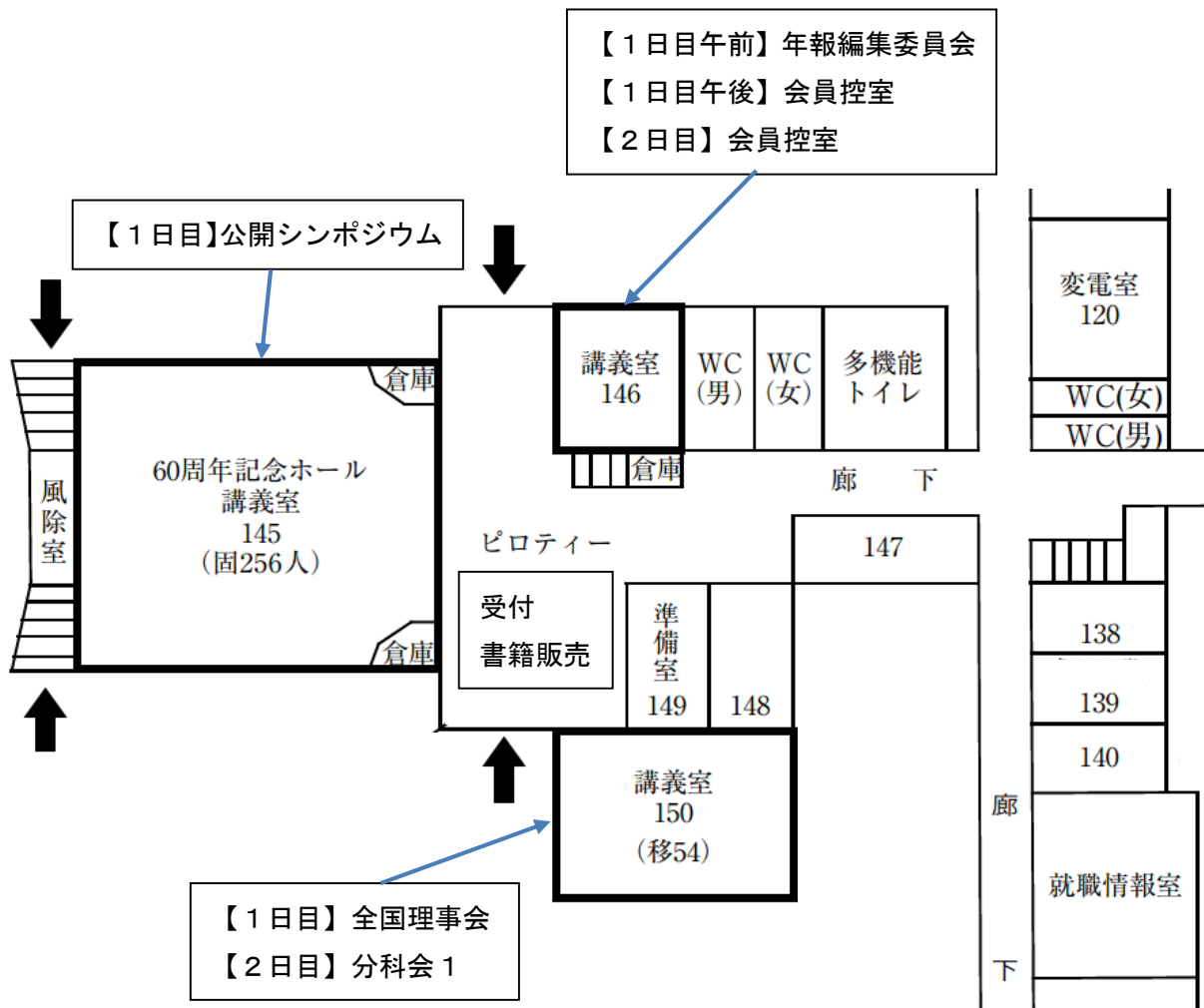
※できるだけ公共交通機関をご利用ください。

【秋田大学 手形キャンパス 校舎案内図】

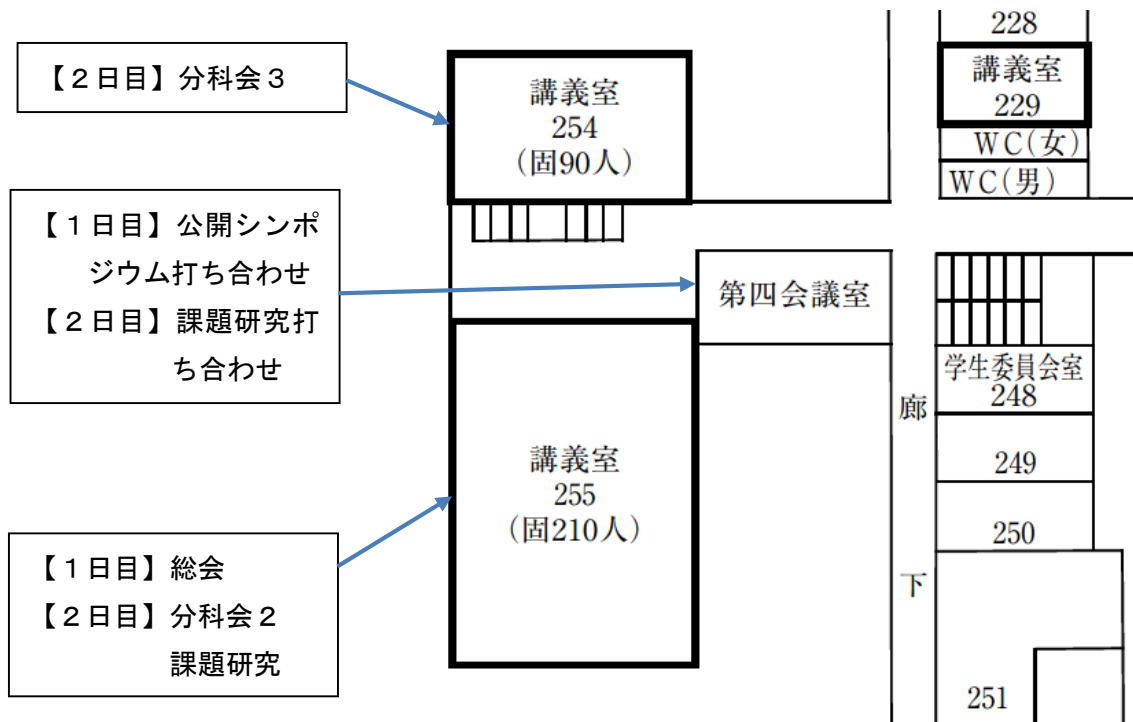


【3号館案内図】

○1階 案内図

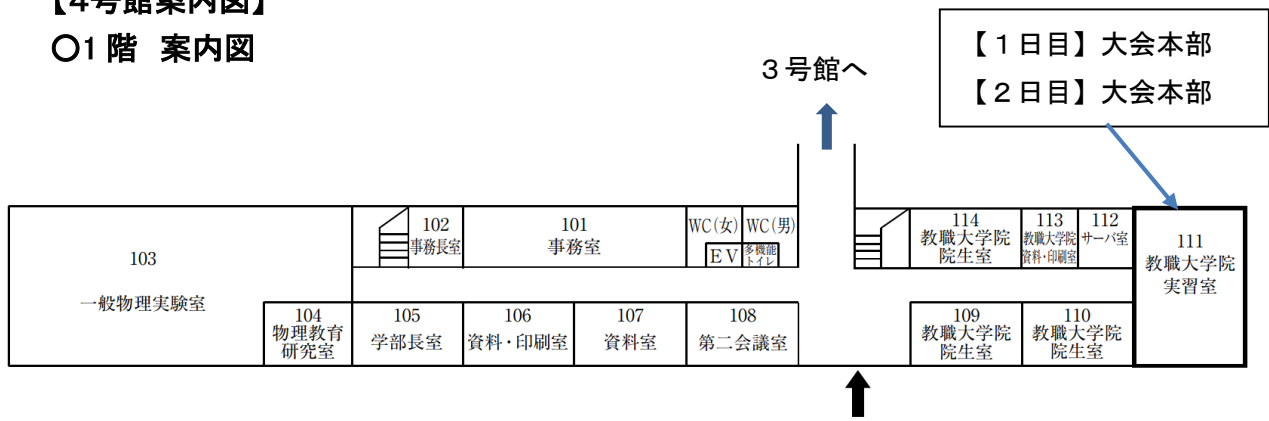


○2階 案内図



【4号館案内図】

○1階 案内図



懇親会会場 ホテルメトロポリタン秋田

* 懇親会はホテルメトロポリタン秋田(秋田駅隣接)で行います。大学からタクシー等で移動する予定です。秋田の地酒を多数そろえる予定です。みなさま、お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。
〒010-8530 秋田市中通 7 丁目 2 番 1 号 TEL 018-831-2222



大会参加要領

- 1. 一般受付**

7月6日(土) 12時00分～ 3号館ピロティ
7月7日(日) 9時00分～ 3号館ピロティ
- 2. 参加費**

一般会員・臨時会員 4,000円(発表要旨集代を含む)
学生会員・学生臨時会員 2,000円(発表要旨集代を含む)
公開シンポジウムのみ参加の非会員 無料
- 3. 懇親会費**

一般会員・臨時会員 6,000円(事前申込者は5,000円)
学生会員 3,000円(事前申込者は2,500円)
*参加できる人数に限りがありますので、懇親会への参加を希望される方は、できる限り事前申し込みを、6月21日までに、大会実行委員会(jasep2019akita@gmail.com)宛てにお願いいたします。その場合も、大会当日にお支払いください。
- 4. 昼食**

土曜日のみ、大学会館1階の食堂が営業しております(11:30～13:30)。近隣にはコンビニエンスストアや飲食店もありますが、数が限られます。日曜日は弁当の注文を事前予約でのみ受け付けます。懇親会と同様に、6月21日までに上記のアドレスにお知らせください。お茶代込みで千円未満の予定です。大会当日にお支払いください。
- 5. 宿泊**

大会実行委員会では宿泊先などのご案内をいたしません。
参加者各位で手配をお願いします。
- 6. 書籍販売等**

本大会では会員個人による書籍販売は行いませんのでご了承ください。チラシなどの資料を置くスペースを用意しますので、ご利用ください。

発表要領

- 1. 発表時間**

個人研究(共同研究の個人発表を含みます)
発表 20分、質疑 10分
共同研究
発表 40分、質疑 20分
- 2. 発表資料**

40部
※会場校での資料のお預かり及び印刷は、お引き受けできません。

- 3. 発表用機材** 発表に際しては、パソコン(パワーポイント内蔵)、プロジェクター、スクリーンが利用できます。発表申込みの際に機器使用をお申し出いただいた方は、データを USB メモリに入れてお持ち下さい。
9 時 10 分から、機械(PC)のチェックができます。
- 4. 欠席の場合** 発表者がやむを得ず欠席する場合は、下記に必ず連絡してください。

jasep2019akita@gmail.com

連絡事項

- 1. 学会費の納入** これまで大会会場にて年会費を徴収していましたが、今大会より年会費は徴収しません。会計の明瞭化と事務作業の軽減のため、年会費はすべて振り込みとなっています。なお、新規に入会を希望される方につきましては、本年度会費(一般 8,000 円、学生・院生 5,000 円)に入会金(2,000 円)を添えて受付横の学会事務局デスクに申請してください。
- 2. 全国理事会** 7 月 6 日(土)10 時から 3 号館 150 教室で全国理事会を行います。理事の方は出席をお願いいたします。昼食を、理事会終了後に用意いたします。
- 3. 年報編集委員会** 7 月 6 日(土)11 時 30 分から 3 号館 146 教室で年報編集委員会を行います。編集委員の方は出席をお願い致します。昼食を用意いたします。
- 4. 公開シンポジウム打ち合わせ**
7 月 6 日(土)12 時 10 分から 3 号館 2 階第四会議室で公開シンポジウム打ち合わせを行います。報告者・コーディネーターの方は出席をお願いいたします。昼食を用意いたします。
- 5. 課題研究打ち合わせ**
7 月 7 日(日)12 時 00 分から 3 号館 2 階第四会議室で課題研究の打ち合わせを行います。報告者・コメンテーター・司会者の方は出席をお願いいたします。昼食を用意いたします。
- 6. 会員控室**
控室として 3 号館 146 教室を用意しておりますので、どうぞご利用ください。ただし、7 月 6 日(土)は 13 時以降のみとなります。ご了承ください。

第1日 7月6日(土)

総会

13:00~14:00

会場:3号館255教室

- 1 開会の辞
- 2 議長団選出
- 3 大会実行委員長挨拶
- 4 会長挨拶
- 5 報告事項
 - (1)2018年度会務報告(事務局長)
 - (2)年報編集委員会報告(年報編集委員長)
 - (3)課題研究プロジェクトについて
- 6 議事
 - (1)2018年度学会活動について
 - (2)2018年度会計決算(案)及び会計監査について
 - (3)2019年度学会活動計画(案)及び会計予算(案)について
 - (4)第27回大会(2020年)会場校及び日程(案)について
 - (5)その他
- 7 議長団解任
- 8 閉会の辞

公開シンポジウム

14:15~17:15

会場:3号館60周年記念ホール

テーマ: これからの地域と学校の関係性を考える

—秋田での取り組みを踏まえながら—

第二次安倍内閣において、地域の衰退が問題となり、「地方創生」が政策の重要課題となつて久しいものの、首都圏を中心とした大都市部への人口集中と、地方での人口減少の進行には未だに歯止めがかかっていません。中でも、秋田は全国一の人口減少率となつており、深刻さの度合いが大きくなっています。「全国学力テスト」における小中学生の学力が全

国トップレベルを維持し続ける一方で、秋田が長年取り組んでいる「ふるさと教育」は心の教育やキャリア教育など、多様な要素を持ちつつも、郷土を支える人材の育成を目指してきました。

教育政策として、コミュニティスクール化が努力義務とされ、地域学校協働活動、地域教育コーディネーターなどが次々に打ち出される中で、学校が地域によって支えられる体制づくりが進められています。また、東日本大震災の被災地では、学校やその教職員が主体的に地域の復興に関わり、それを教材化し、子どもたちが地域復興の主体となっていく「〇〇ふるさと科」などの取り組みが進んでいます。「地域に支えられる教育」だけではなく、「地域を支える教育」、そして、「地域と共に歩む教育」「地域と共にある教育」が求められていると言えるでしょう。

本シンポジウムでは秋田での取り組みを踏まえながら、地域と学校の関係の今後のあり方を考えます。五城目町では地域おこし協力隊の取り組みが進んでおり、五城目小学校の関わりが報告されます。東成瀬村は県内でも学力の高さで知られるところで、その中での地域と連携した教育の取り組みが報告されます。石沢真貴秋田大学教授からは、社会学の立場から、秋田の地域が置かれている状況や地域おこしの取り組みについて報告されます。梅澤収静岡大学教授からは、ESDの観点から、地域と学校との関係性について報告されます。

【コーディネーター 兼 司会】

・佐藤 修司（秋田大学）

【スピーカー】

・大沼 一義（東成瀬村立東成瀬中学校長）

「東成瀬中学校における取り組み」

・松野 紳一（五城目町立五城目小学校長）

「五城目小学校における取り組み」

・石沢 真貴（秋田大学）

「秋田県における地域コミュニティの現状と課題」

・梅澤 収（静岡大学）

「地域・学校づくりを ESD for SDGs の観点で考える—大学の役割を問いながら—」

【共催】秋田大学教職大学院

【後援】秋田県教育委員会・秋田市教育委員会

懇親会：ホテルメトロポリタン秋田

18：00～20：00

第2日 7月7日(日)

自由研究発表 分科会 1

10:00~12:00

会場 3号館150教室

司会 荒井 文昭(首都大学東京)
谷 雅泰(福島大学)

10:00~10:30 幼稚園、保育所における自己評価の政策内容と実践に関する比較研究

○佐々木 織恵
(東京大学)

10:30~11:00 教育公務員特例法(1949年)に関する日教組の路線選択

○高木 加奈絵
(東京大学大学院・院生)

11:00~11:30 道徳の「教科化」の問題点と道徳性の教育の構造

○佐貫 浩
(法政大学名誉教授)

11:30~12:00 過去ログを踏まえた平成の全国学力テストの成果と課題

○竹中 司郎
(青森中央学院大学)

分科会 2

10:00～12:00

会場 3号館255教室

司会 貞広 斎子(千葉大学)

武者 一弘(中部大学)

10:00～10:30 指導教諭制度の現状と課題—都道府県・政令指定都市への質問紙調査をもとに—

○押田 貴久
(兵庫教育大学)

10:30～11:00 教師の資質能力及び授業のスタンダード化と教師の自律性—島根県の教員研修計画分析を中心に—

○松田 香南
(名古屋大学大学院・院生)

11:00～11:30 自主サークルにおける非プログラムのな教師の成長

○池田 考司
(北海道教育大学)

11:30～12:00 教職キャリアの多様化を見据えた「中途入職教員」活用に関する教育行政施策の研究(第1報)

○青木 純一(日本女子体育大学)
前原 健二(東京学芸大学)

会場 3号館254教室

司会 新井 秀明(横浜国立大学)
角谷 昌則(東洋大学)

9:30~10:00 現代中国における「無償師範生」政策の意図の再検討—採用・配置の実態を踏まえて—

○王 佳寧
(北海道大学大学院・院生)

10:00~10:30 教員免許制度における助教諭の身分と任用実態

○王 婷
(北海道大学大学院・院生)

10:30~11:00 首都圏の教員不足の状況と教育政策の問題点

○永井 栄俊
(立正大学非常勤)

11:00~11:30 市町村の財政力と高校教育関連政策内容の差異

○野田 紘史
(北海道大学大学院・院生)

11:30~12:00 大学政策に対する市民的自由論の可能性—1970年代の大学改革論の検討を手がかりに—

○光本 滋
(北海道大学)

テーマ：教育と福祉の統一的保障をめぐる教育政策の課題と展望

今期の課題研究「教育と福祉の統一的保障をめぐる教育政策の課題と展望」は、今年で2年目となります。これまでに昨年の大会でのシンポジウムのほか、2回の春季公開シンポジウムを開催してまいりました。

経済的格差の拡大や、さまざまな困りごとを抱える家庭の増大(または発見)を念頭に置きつつ、子ども・若者の学びと成長を保障する教育政策を検討していきたいと考えています。課題研究の題目に掲げた「教育と福祉の統一的保障」は、教育と福祉の一体化を考えているとの誤解を与える面があるかもしれませんが、必ずしもそれを意図したものではありません。教育と福祉がそれぞれの役割と機能、そしてそれぞれの限界を認識しつつ、相互補完的に作用することが課題かもしれません。ただ、教育政策だけでなく、教育学にも、個々の子ども・若者の状況やニーズに応答していく進展は弱かったであろうと考えます。

今回は、教育と福祉の統一的保障といった問題に、岩橋先生にはイギリスを中心とする教育政策研究の視点から、辻先生には教育福祉論の視点から、それぞれお考えをご報告いただき、議論を深めていただきたいと考えています。

【報告者】

・岩橋 法雄(第一工業大学)

「特別な教育ニーズは一部特殊なグループだけではないという志向(Every Child Matters)と拡張学校の役割:戦後イギリスにおける学校欠席への取り組みと競争主義的学校教育の見直し」

・辻 浩(名古屋大学)

「教育福祉から考える青年期教育の政策課題:障害のある人の『学校から社会への移行』を題材に」

(担当理事:中嶋哲彦)

日本教育政策学会第26回大会プログラム

〒010-8502 秋田県秋田市手形学園町1-1
秋田大学教育文化学部 佐藤修司研究室
日本教育政策学会第26回大会実行委員会

佐藤修司（実行委員長：秋田大学）、鎌田 信（秋田大学）、
小池孝範（秋田大学）、小林建一（秋田県立大学（非））、元聖園短期大学）
鈴木 翔（秋田大学）、原 義彦（秋田大学）、白幡真紀（東北大学博士研究員）

E-Mail jasep2019akita@gmail.com

教師のための教育学シリーズ 3 学校法 第二版

教師のための教育学シリーズ編集委員会 監
佐々木幸寿 編著

現代の教育の状況を読み解き、具体的な解決策を
考えるうえで不可欠になる視点「学校法」のテキ
スト。学校関係法、学校法、教育課題と法等を解説。

本体
2,500円
●
256頁



「ESDでひらく未来」シリーズ 持続可能な未来のための 教育制度論

小玉敏也・鈴木敏正・降旗信一 編著

「〈教育制度〉は、現在のままでは持続しない」とい
う強い危機感から、教育課題の解決に向け教員が
「自分ごと」として構想することを主眼に据える。

本体
2,300円
●
224頁



教師教育テキストシリーズ 7 教育の法と制度

浪本勝年 編

日本における教員養成、大学の教職課程において
教育に関する「社会的・制度的・経営的事項」につ
いての学習をすすめるためのテキスト。

本体
2,000円
●
200頁



SDGs時代の教育

—すべての人に質の高い学びの機会を

北村友人・佐藤真久・佐藤学 編著

SDGsの実現に向け、人間にとって根源的な営み
である教育を通じた人材育成や、知の創出を目指
し、鋭い執筆陣が多彩に論じる。

本体
3,000円
●
304頁



教育行政学 改訂新版

勝野正章・藤本典裕 編

はじめて学ぶ読者を想定してわかりやすく解説し
た教育行政学入門テキスト。反省的省察を加えつ
つ、近年の教育行政の変化を踏まえ概説。

本体
1,800円
●
160頁



早稲田教育叢書 34

基礎から学ぶ比較教育学

長島啓記 編著

日本を含む各国の教育について取り上げ、比較、
検討。国や地域ということは背景に置き、各国が
解決を迫られている課題や論点を主に比較する。

本体
2,000円
●
242頁



新版 近現代教育史

斉藤利彦・佐藤学 編著

各国における近代公教育制度の成立と、それを生
みだした近代教育思想について考察。各国のさま
ざまな教育改革の展開についても明らかにした。

本体
1,900円
●
192頁



災害と子ども支援

—復興のまちづくりに子ども参加を

安部芳絵 著

災害復興期、災害と隣り合わせの社会を生きる子
どもたちにとって一番大切なことはなにか。子ど
も支援とまちづくりを、子どもとともに考える。

本体
2,300円
●
264頁



〒153-0064 東京都目黒区下目黒3-6-1
<http://www.gakubunsha.com>

学文社

Tel 03-3715-1501(代) Fax 03-3715-2012
E-mail: eigyo@gakubunsha.com

現代中国の就労・自立支援教育

― 都市コミュニティにおける労働・福祉と成人教育

肖 蘭著 著しい経済成長の反面で貧富の格差が拡大し、さまざまな問題が生じている中国。本書は、コミュニティII社区に注目し、社区で行われる失業者・就業困難者に対する就労・自立支援について、フィールド調査に基づきその実態と課題を明らかにする。

【新刊】 4800円

近代日本の水産教育

― 「国境」に立つ漁業者の養成

佐々木貴文著 1882年から1941年までの農商務省管轄の官立・府県水産講習所について、水産政策や国際情勢、技術の発展、職業資格制度の創出等に留意しながら体系的に分析する。

8000円

近代日本の夜間中学

三上教史著 明治から敗戦直後まで、中学校歴を得られない傍系の教育機関でありながら、その数は全国で200校を超えた夜間中学。膨大な一次資料に基づき、その歴史の実像を明らかにする。

8200円

満蒙開拓青少年義勇軍史研究

白取道博著 大日本帝国政府が実施した、数え年16〜19歳までの満蒙開拓青年義勇軍に関する基本的な政策の展開過程を、制度の創設・再編・変容・解体まで、膨大な資料に基づき体系的・実証的にたどる。

5400円

第11回女性史学賞受賞

繊維女性労働者の生活記録運動

― 1950年代サークル運動と若者たちの自己形成
辻 智子著 紡績工場のサークル「生活を記録する会」に残る文集等の一次資料を駆使し、若い工員達が書くことで問題を対象化し、語り合い、解決していく姿を、具体的・多角的に記述する。

9000円

〔北海道大学大学院教育学研究科研究叢書1〕

高等継続教育の現代的展開

― 日本とイギリス

姉崎洋一著 高等教育・継続教育について、とくに英国の事例によりながら日本の実態と比較検証。各種の実践に光を当て、学校、地域社会、青年・成人を結ぶ、新たな高等継続教育の課題を探求する。

6000円

北海道大学出版会

〒060-0809 札幌市北区北9西8 北大構内 [価格に税抜]
Tel. 011(747)2308 / Fax. 011(736)8605 • <http://www.hup.gr.jp/>

全国シェアNo.1の法規集!

教育小六法

編集委員 市川須美子・小野田正利・勝野正章・(2019年版)
窪田眞二・中嶋哲彦・成嶋隆

☆教育関係法令222件、重要資料19件を収録。
☆参照条文・判例・行政実例などは青色で示し、2色刷で分かりやすく掲載。
☆この1年の最新法令改正を盛り込み、資料を充実。



●定価2916円

手元があれば、必ず役立つ!

学校の法律がこれ1冊でわかる 教育法規便覧

窪田眞二・小川友次共著

☆学校における働き方改革関連を中心に最新トピックを詳解!
☆学校運営で困ったとき、根拠法令を知りたいときなど、いざというときに必ず役立つ、学校管理職必携の書。



●定価4104円

逐条学校教育法

鈴木勲(元文化庁長官) [編著]

〔第8次改訂版〕

☆学校教育法の解釈・運用の定本!
☆義務教育学校の創設、教授会の役割の明確化、副校長の職務などの学校教育法の改正を盛り込み、参照条文・判例・通知などを整理。●定価15120円

すぐわかる! 教育法規

窪田眞二 [編]

〔第2次改訂版〕

すっきりコンパクトに、教育法規がわかる!
管理職試験対策で役立つ知識が図解でよくわかる!
中堅教諭等資質向上研修や障害者差別解消法の内容を網羅! ●定価2700円



学陽書房

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-9-3
TEL.03-3261-1111 FAX.03-5211-3300

弊社HPは
こちらから



Twitter やってます!
Facebook

(価格税込)

米国公立学校教員評価制度に関する研究

藤村 祐子著 7000円
 本書は、アメリカの教員評価制度について、歴史的な変遷を踏まえた上で形成的機能に注目し、成立・展開過程、実施状況を解明した好著。

教員自主研修法制度の展開と改革への展望

久保富三夫著 11500円
 前著「戦後日本教員研修制度成立過程の研究」を基盤に、戦後自主研修法制度の展開を歴史的・原理的・総合的に考察。「学び続ける教員像」実現のための著者渾身の提言。

コミュニティ・スクールの全貌

佐藤晴雄編著 4000円
 コミュニティ・スクールの活動実態や校長の意識を明らかにした最新の調査を取り上げ、その有効性と課題を考察。今後の政策・実践や研究に資するデータを示した。

社会教育主事に求められる役割

桜庭 望著 6500円
 歴史的背景から社会教育主事制度の変遷を辿り、所属組織やキャリアが資質・能力獲得に与える影響を実証的に研究。今日の社会教育主事に期待される姿を論ずる。

イギリスにおけるインクルーシブ教育政策の歴史的展開

水野 和代著 9000円
 イギリスの障害児教育成立期からインクルーシブ教育政策に至る歴史的展開、現地小学校におけるインクルーシブ教育実践を分析・考察し、日本への示唆を与える意欲作。

教育経営における責任・統制構造に関する研究

三浦 智子著 7500円
 我が国における教育経営の統制と責任の構造について実態を解明。学校の「アカウンタビリティ」の保障を図る上で、その構造が抱える課題について検討を試みる。

学校秩序回復のための生徒指導体制モデル

石黒 康夫著 2800円
 学校の秩序を回復した実践の中から共通に見られる要素を抽出し、回復に有効な生徒指導体制モデルを作成。管理職と教師・教師と子どもとの協働関係を視野に入れる。

日本における高齢者教育の構造と変遷

久保田治助著 6500円
 近代以降の日本高齢者教育の変遷を、各時代の社会状況と高齢者像をもとに考察。戦後の高齢者教育の構造と展開を学習理念と学習内容を中心に分析した新著。

戦後日本教員養成の歴史的研究

土屋 基規著 14000円
 戦後日本の教員養成改革理念の成立と制度原則の展開を歴史的に記述した著者長年にわたる研究の集大成。巻末に戦後日本教師教育問題年表を付す。

発達障害等の子どもの食の困難と発達支援

田部絢子・高橋智著 8000円
 発達障害等の子どものどのような食の困難を有し、いかなる支援を求めているのか。当事者、保護者、教師、学校栄養職員への調査をもとに総合的に明らかにしている。

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-34
 TEL 03-3291-5729 FAX 03-3291-5757

風間書房

(URL) <https://www.kazamashobo.co.jp>
 メールアドレス pub@kazamashobo.co.jp

**季刊
教育法**

定価 本体価格1,905円+税

発行 3・6・9・12月 25日 年4回

200号 (2019年3月号) 特集

【第1特集】教育法の主要課題とこれから

子どもの権利と教育法の展望	喜多 明人
いじめ防止対策推進法の孕む課題	小野田 正利
教職員の働き方を問う	樋口 修資
学校でのスポーツ事故の現状と予防	望月 浩一郎
学校事故をくり返さないために	南部 さおり
部活動の今後のあり方を考える	長沼 豊
部活動への顧問教師の適正な付き合い方	中澤 篤史

【第2特集】教育法学研究への提言

教育法学への期待	森部 英生	早田 幸政
「学び」の質的転換と初・中等教育、高等教育のリンケージ		浦野 東洋一
『季刊教育法』200号への祝意・謝意と現場からの期待		

エイデル研究所

〒102-0073 東京都千代田区九段北4-1-9 TEL.03-3234-4641 FAX.03-3234-4644

多忙化する一方の教師の仕事改善、ブラック化をくいとめる手立てを提案!

学校をブラックから解放する

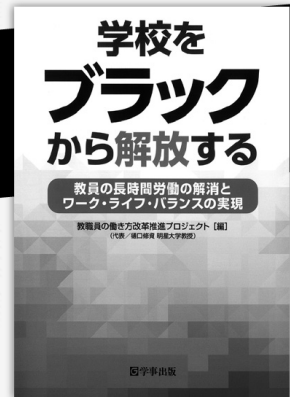
— 教員の長時間労働の解消とワーク・ライフ・バランスの実現 —

A5判 168ページ 定価(本体1,800円+税)
ISBN: 978-4-7619-2508-6

学校の教員にも働き方改革の風を呼び起こすことを目的として発足した「教職員の働き方改革推進プロジェクト」が、膨大なデータなどをもとに、改革に向けた処方箋を指南。綿密な調査・分析・考察のもとにこれからの方向性を導き出しており、一過性に終わらない内容をもった1冊です。
「学校のブラック化」はこれでストップ!

資料

- 教職員の働き方改革推進プロジェクト立ち上げメッセージ
- 文部科学省「学校における働き方改革に関する緊急対策」(文部科学大臣決定)
- スポーツ庁「運動部活動の在り方に関する総合的なガイドライン」(抄)
- 給与特別措置法 ● 労働基準法(抄) ● 労働時間適正確保ガイドライン など



主な内容(目次より)

- 第1章…… 教員の多忙化解消に向けた学校の働き方改革
- 第2章…… 学校の業務改善にはどれほどの効果があるか
— これまでの取組と「中間まとめ」以降の課題を検証する —
- 第3章…… 部活動の過重負担:職員室を二分する意識に着目して
- 第4章…… 過労死と公務災害認定
- 第5章…… 変形労働時間制の問題点と調整休暇制度導入の必要性

教職員の働き方推進プロジェクト[編]

代表/樋口 修資 (明星大学教授)

- 執筆者
- 樋口 修資 (明星大学教授)
 - 青木 純一 (日本女子体育大学教授)
 - 内田 良 (名古屋大学准教授)
 - 工藤 祥子 (全国過労死を考える家族の会公務災害担当/神奈川過労死等を考える家族の会代表)

ホームページからもご注文できます <http://www.gakuji.co.jp>

学事出版

千代田区外神田2-2-3 TEL03-3253-4626 FAX 0120-655-514

近刊 広瀬裕子 編

「グローバル化をキーワードに近代社会が拡大成熟した段階の教育状況を考察する」

カリキュラム・学校・統治の理論

◎ ポスト・グローバル化社会の教育「仮題」 予価2800円

谷川至孝

「福祉国家でもない、ニューライト国家でもない、新しい国家・社会像とは。子どもの貧困問題に取組んだ英国労働党政権が展望した未来の教育政策」

英国労働党の教育政策「第三の道」

◎ 教育と福祉の連携 3900円

平井悠介

「九〇年代のシテイズンシップ教育論への関心の高まりが意味するものとは——社会的平等という視点からシテイズンシップ教育論議の地平を拓ける」

エイミー・ガットマンの教育理論

◎ 現代アメリカ教育哲学における平等論の変容 3400円

日本教育学会教育勅語問題ワーキンググループ 編

教育勅語と学校教育

◎ 教育勅語の教材使用問題をどう考えるか 2400円

大田直子

現代イギリス「品質保証国家」の教育改革 2400円

現代イギリス「品質保証国家」の教育改革

◎ ケア・道徳・関係性 2000円

教育システムと社会

◎ その理論的検討 3600円

格差・秩序不安と教育

◎ アンジェリョニスムと郊外のユートピア 3500円

刑務所処遇の社会学

◎ 認知行動療法・新自由主義的規律・統治性 6200円

北村和夫

オートポイエーシス 4200円

としての近代学校

◎ その構造と作用パターン

〔8月発売〕
教育学年報 11巻
「教育研究の新章」
編集委員 下司晶・丸山英樹・青木栄一・
濱中淳子・仁平典宏・石井英真・岩下誠



世織書房

〒220-0042 横浜市西区戸部町7-240 文教堂ビル3階 TEL045-317-3176/FAX045-319-0644
seori@nifty.com <http://seorishobo.com> (税抜)